



和顔愛語

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉田純一

先日、日本人の選手が全英女子ゴルフにトップで最終日にすすむという報道を見て、深夜のテレビ放送などめったに見ない私でしたが、どうしても気になり、当日は夜の十一時頃にはテレビをつけて観戦しました。そうしたら何と七十才の私が彼女の笑顔に引き込まれ、最後の優勝の瞬間まで見入ってしまいました。テレビに映る彼女の姿は、笑顔そのままに、ホールの間を移動する中では多くの見物客と気軽に手のひらをタッチし、ショットを待つ間には駄菓子をおぼっていることなど、とても熾烈な優勝争いをしている選手とは思えません。また「シブコスマイル」と呼ばれるトレードマークの彼女の笑顔は人々を魅了し、まさに「笑う門には福来る」を地で行っているような出来事でした。

七朗
四季の部 銀賞 立川市 本沢

「不動ヶ丘からの夕焼け」
「雑宝蔵経」には「眼施（柔和な眼差し）」「和顔悦色施（柔和な表情）」「言辞施（柔和な言葉）」「身施（柔和な振る舞い）」「心施（思いやりの心）」等の無財の施が示され、これらの布施の結果、未来世に仏と成ることができると説かれています。

いつも穏やかな顔でいることにより、心も穏やかになります。周りに優しい言葉をかけていけば自然と心が優しくなります。思いやりの心を持ち、一人一人が和顔愛語を心がけることにより素晴らしい世界が開かれて来ると思います。

お不動さまの心——(一〇六) 現代の世相から (66) 廣澤隆之

最近とみに子供の生活環境が気になっていきます。前々回に書きましたように、子供への虐待の事件報道などに接すると心が痛みます。このような荒廃した子供の生活環境の劣悪化の背後には、報道されないさまざまな問題が潜んでいることでしょう。経済格差や地域格差など、さまざまな要因により子供の生活環境が劣悪化すれば、当然のことですが教育環境も劣悪化するはずです。

孫が小学生になってからは、その子供を通じて具体的に学校現場で深刻な問題が起こっていることも身近に知らされます。そして孫の母親、すなわち私の娘から知られる小学校の現況は驚かされることばかりです。娘と私は子供の心を案じて、けっして先生の批判をしないように心がけています。しかし担任の先生の言動には驚かされることしばしばあります。

学校では地元の歴史や文化を知る課題もあるようで、かつて盛んであった養蚕の体験学習も用意されたとのことです。そこで蚕の幼虫をクラスで飼うこと

にしたようです。そこで保護者には桑の葉の用意をお願いしたそうです。すると昔からの農家には桑の木が残っているところもありますので、ある人は大量に桑の葉を届けたそうです。その折りに、桑の葉は冷蔵庫などで保管してほしいと伝えましたが、担任の先生はそのまま放置したためにすぐに葉は枯れてしまったそうです。この話を聞いて、桑の葉を届けた保護者は心くじかれたとのことです。

さらに驚いたことに、担任の先生は蚕の幼虫を紙コップに入れ、中に桑の葉を突っ込んで育てようとしたそうです。蚕の育て方を知らなければ、地元の農家の人に尋ねればよいと思うのですが、紙コップに蚕の幼虫を入れるとは、想像を絶する光景です。このような事情だからでしょう、ほとんどの幼虫は死んでしまったとのこと。百匹か二百匹といった多くの幼虫の中で生き延びたのはわずか数匹であったとのこと。これだけの経緯だけでも驚くべきことですが、さらに信じられない光景があったということです。百匹

か二百匹かの死んだ幼虫は干からびたままにされ、ゴミ箱に捨てられたとのこと。先生は虫が嫌いだったのかも知れません。蚕も蛾の幼虫ですから、虫嫌いであれば大量の幼虫の死骸は身の毛もよだつほど気持ち悪かったのかもしれない。しかしそうであったとしても、児童の前で死んだ幼虫をゴミ箱に捨てる気持ちは理解できません。成長を観察するために育てようとした生物が死んだら、それをゴミ扱いにすることというところが教育現場で行われて

いることを重く受けとめるべきでしょう。

これに対して、生命の尊さを教えることが大事であるといった通り一遍の主張をするつもりはありません。生命の尊さを教室で教えることができるかどうか、児童教育に無知な私には分かりません。むしろ私の立場では伝統的な文化の崩壊が教育の現場にも見られることが深刻な問題であると思っています。文化とはものごとを受けとめ



地藏菩薩像

る思いを共有し、ものごとに対する共通の所作振る舞いがある生活の営みです。例えば食事の時に合掌して「いただきます」と言うのは日本での伝統的な文化になっていきます。それと同じように、育んだ生命を失った時に、その生命が小さくとも、その死には鄭重に接するのが文化として継承されてきたと思えます。また食材となった生きものにも感謝の思いをいたすのが文

化として私たちの家庭生活には浸透していました。このような文化は知識として教育することによって維持されるものではなく、私たちの日常生活の中で継承されるものでしょう。デパートで買ったカプトムシが死んだとき、動かなくなったカプトムシの電池を入れ替えて子供が言ったことが伝えられたのはもう二十年も昔のことでしょうか。その時代の子供たち

がすでに大人になり、小学生の親になり、学校の先生になっていくのです。そしてこの数十年の間に、継承されてきた伝統的な文化を私たちが崩壊させたのではないかと深刻に思います。このことは私たちの生活環境の激変とも深く関連していると思えます。そしてこのような生活環境を支えているのは私たちの限らない欲求でしょう。その欲求は情報社会の中で刺戟を受け続け、その欲求の総体は現代の肥大化した消費文明を生みだしています。このような文明を生きる私たちの心に蚕の幼虫の死骸をゴミ箱に捨てる振る舞いが生み出されていると思えます。もはや伝統が生き続けた時代とは断絶してしまったのでしょうか。そんなことはありません。食べ物を天地の恵みとありがたく受けとめ、貧しいながらもつましく生きてきた時代に育まれた文化は私たちの心はまだ存続しているはず。それを見つめなおし、子供たちに伝えていくことが求められると思えます。真摯に文化を継承する生活は仏さまへの祈りの生活でもあります。

● 廣澤隆之先生のプロフィール
● 大正大学名誉教授
● 浄福寺住職

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。

(敬称をすべて省略させていただきます)

品名 御詠歌用机椅子 二十組

奉納者 密厳流遍照講

東京多摩教区連合会



遍照講 高尾山支部

遍照講 高幡山支部

遍照講 總持寺支部

遍照講 武蔵野 延命寺支部

遍照講 安養寺支部

遍照講 西蓮寺支部

遍照講 玉泉寺支部

遍照講 龍光寺支部

遍照講 東福寺支部

一、品名 多摩川石

奉納者 日野市 堀ノ内土中石

中山 勲生



境内整備緑化資金 寄進者芳名

(令和元年五月一日〜元年七月三十一日)

日野市 東京飛火野ロータリークラブ

横浜市 樋之口 順子

彦根市 西澤 政男

(二回)

千体地藏尊 奉安者芳名

(令和元年五月一日〜元年七月三十一日)

小金井市 鴨 下 常次

南アルプス市 勤吾紙業株式会社

南アルプス市 秋山 詔樹

南アルプス市 輿石 和美

幟旗奉納者芳名

(令和元年五月一日〜元年七月三十一日)

宇都宮市 中村 滯

港区 依田 巽

千代田区 吉川 謙

世田谷区 山中 雅晶

世田谷区 山中 晴湖

府中市 中井 啓之

二本 日野市 須崎 巖

二本 日野市 岡村 美樹

二本 羽村市 山本 正五

八王子市 木下 義徳

八王子市 木下 良子

八王子市 久島 孝行

町田市 山本 芳男

町田市 角谷 政則

二本 中央市 佐野 千尋

曼珠沙華球根 奉納者芳名

(令和元年五月一日〜元年七月三十一日)

練馬区 石井 恵子

日野市 池田 修三

山主の主な動静

6/2 少年柔剣道奉納大会・6/3 日野市観光協会総会・シヨッパ ー社取材・6/6 智山専修学院生 来山・6/7 防犯協会総会・6/9 日本拳法奉納大会・6/11 日野市仏 教会総会・6/15 青葉まつり・ 最勝寺(埼玉第八教区)参拝 団・6/17 幡山会総会(立川)・ FM立川収録・6/21 菊花連盟・6/23 空手奉納大会・6/25 潤徳小学校 評議会・よさこい実行委・7/6 参道会七夕まつり・7/8 真言宗 智山派管長布施浄慧観下初登 嶺(総本山)・7/17 日野市ユニ バーサルデザイン推進功労者 表彰式(市役所)・7/18 大貫隆 氏通夜焼香(善生寺)・7/29 智 山ロータリークラブ(別院) ・写真コンクール審査・8/3 日野市菊友会50周年祝賀会・俳 句大会表彰式・8/4 短歌大会表 彰式・8/15 大施餓鬼会・8/20 飛火 野ロータリークラブ卓話・8/25 写真コンクール表彰式・8/29 小 峰一允観下祝賀会(東京会館)

高幡不動尊 フォトニュース



青葉まつり法要 6/15



不動堂仏具奉納式 5/25



恒例のあじさい「毬切り」作業 7/5



力作揃い！写真コンクール審査 7/29



全国俳句大会記念講演 星野高士先生 8/3



青葉まつり 遍照講の皆さん 6/15



牧 宥恵師仏画教室 6/15



月例写経会～当山僧侶による法話 6/21



姿勢を正して～薄茶接待 6/21



蓮の花が良く咲きました 8月上旬



参道を彩る七夕飾り 6/28



珍しい紫陽花が一堂に～宝輪閣にて 6/11



「あじさい」のベストポジション 6/13

諸行事に参加して

(敬称略)

五月大祭講演 (5/28)

「サザエさん一家は
幸福みつけの達人ぞろい
マスオさんが語る日本の家族」

増岡 弘先生

日野市 坂原 弘康

増岡さんならではの「言葉」
をテーマにしたお話、大変面白
かったです。次回の講演会
を楽しみにしております。

日野市 匿 名

笑いあり、涙あり、とても
楽しい講演会でした。言葉と
心を大切に、家族仲良くして
いきたいです。

「しあわせは自給自足」こ

日野市 匿 名



マスオさんの増岡 弘先生

れがとても良かった。「言葉
は凶器にもなる」これも良か
ったです。

青葉まつり記念法話 (6/15)

「両大師の生涯」

福傳寺中 吉野孝壽先生

ふじみ野市 石川 芳江

毎年参加させていただき、
法話は生活そのものです。命
の洗濯ができますよう、日々
精進して参ります。

府中市 石原ともゑ

吉野先生から解りやすい両
大師様の話を聞く事が出来ま
した。又、法要に接し心が浄
化されました。

府中市 上岡 武重

真言宗の歴史の話が特に良
かったです。

世田谷区 白子るみ子

吉野先生の話がわかりやす
かったです。もつと色々な話
を聞きたかった。初めて参加
させて頂きました。ありがと
うございました。

世田谷区 白子恵美子

心の洗濯、とても自分に役
立つ言葉をいただき、これか
らの進むべき力をいただいた
と感謝します。



吉野孝壽先生のご法話

山内八十八ヶ所クイズ

豊島区 安齋 太基

実際に四国の八十八ヶ所を
巡るのは大変ですが、山内を
巡ることは気軽にできるため
身近に弘法大師様を感じるこ
とができました。あじさいも
大変きれいで、リフレッシュ
できました。

八王子市 辻 聖香

中学生の娘と学校のお休み
を利用してまわりました。長
くもなく短くもなく、久しぶ
りにたくさん話ができました。
楽しかったです。

船橋市 中山 千晴

だんだん無心になって巡る
ことができました。十ヶ所ご
とのクイズもマイルストーン
のようで少しずつ進んでいる
のを実感しながら回れました。

あじさいもとてもキレイでし
た。

江戸川区 梅田 雅也

大師堂に降りてくる際、ゴ
ール前突然沢山のあじさいが
現れて美しく、本当に感動し
ました。

日野市 坂本 幸江

体力作りも兼ねて、よく巡
らせて頂いています。毎回変
わる草花の表情に楽しませて
もらっています。

横浜市 楽 好美

今月初めてこちらに来させ
て頂きました。山中を歩きな
がら八十八ヶ所巡りが出来る
ので、とても感動して嬉しか
ったです。私は現在六十五才
ですが、歩ける限り月一回ぐ
らいは来たいと思えました。

調布市 森田なつみ

妊娠八ヶ月目です。大きな
お腹で頑張りました。九月三
日に出産予定です。見晴台か
らの景色がきれいでした。次
は三人で来ます。

杉並区 戸田 舜樹

恋人と来ましたが、ここの
あじさいの色のように、この
気持ちが変わろうのかもしれない
「しゅーん」となりました。
来年も二人で来たいです。あ
じさいがとても美しかったです。

す。俺の心は高幡不動のよう
に不動です！

国分寺市 西面 博子

なつかしい地名に出会いび
つくりし、嬉しい気持ちにな
りました。第四十二番札所の
愛媛県北宇和郡三間町です。
父(大正三年生れ)の生まれ
育った地で、私も二回訪れた
ことがあります。お大師様
の導きと不思議な気持ちにな
りました。

府中市 峯田恵理子

今回、二回目です。一昨年
の初不動の時、雪が残る中、
一時間かかり、今日はスイス
イ行けるかと思いましたが、
違う景色に目を奪われ、結局
一時間を要してしまいました。
弘法大師様に会えますし、運
動にもなりますし、また巡り
たいです。



来年のクイズもお楽しみ下さい

く 献花のおすすめ

お花講 講員の募集

当山ではお花講講員の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただいております。毎年秋季大祭大般若会（九月二十八日）に御招待（法話・大般若会参加・お護摩札授与・精進料理接待）致します。大勢様ご入講下さいますようお願い申し上げます。

記

一、名称 高幡山お花講

一、会費 一ヶ月

五〇〇円

※入講は随時承っております。

ご入講の皆様には輪袈裟を

授与します。



萬燈会記念コンサート

ラテン歌手 ベン ホサカ (歌手・ギタリスト)

日時 十一月二十二日(金)・二十三日(土・祝)

午後六時より

会場 五重塔塔院大ホール

入場 無料

声量豊かな甘い美声を持つロマンティックで格調高いラテン歌手。二〇一六年には真言宗智山派総本山智積院にて「空海」の中国渡航一二〇〇年記念の奉納演奏が好評を得る。今回は、伴奏をラテン・ギターの名手 梶塚 潤氏がつとめ、二本のアコースティックギターとヴォーカルによる演奏。



世界糖尿病デー

五重塔ブルーライトアップ

今年も世界糖尿病デーにちなみ五重塔のブルーライトアップ及びチャリティーイベントを左記の通り開催します。

◇五重塔ブルーライトアップ 十一月九日(土)〜十五日(金)

◇チャリティーイベント 十一月九日(土) 午後五時開演

会場 塔院大ホール 入場無料

・杉田貫主法話

・糖尿病専門医のお話

・ブルーライトアップコンサート

出演 村田洋一(トロンボーン奏者、作曲家)

く ジャズをメインとしながらあらゆるジャンルで演奏活動中、「東京五輪音頭二〇二〇」の編曲やポップス、クラシック、映画音楽等数多くの編曲を手掛ける

主催 朝比奈クリニック 協賛 日野医師会 後援 高幡不動尊



秋の行事案内

(毎月十五日にはお焚き上げが行われます)

◇九月

○8日(日) フリーマーケット

○15日(日) ござれ市(がらくた市)

○21日(土) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶

○23日(祝) 彼岸会法要(午前七時) 大日堂

○24日(火) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶

○28日(土) 秋季大祭大般若会 お花講総登壇日

記念法話 講師 薬王寺 ご住職 倉松 俊弘先生
演題 「今を生きる」くいのちとはく

◇十月

○13日(日) フリーマーケット

○20日(日) ござれ市(がらくた市)

○21日(月) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶

○21日(月) 多摩八十八ヶ所巡拝結願法要

記念法話 講師 多摩八十八ヶ所第十二番札所
千手院 ご住職 小路 耕徳先生
演題 「お勤めについて」

○24日(木) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶

○26日(土) 11月17日(日)

○28日(月) 第四十九回 高幡不動尊菊まつり (下段参照)

月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶

◇十一月

○11月中旬 七五三祈願 (下段参照)

○9日(土) 五重塔ブルーライトアップ (七頁参照)

○10日(日) フリーマーケット

○16日(土) 17日(日) 高幡写仏会 講師 牧育恵先生

○17日(日) ござれ市(がらくた市)

○18日(月) 30日(土) 高幡不動尊もみじまつり (九頁参照)

○21日(木) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶

○22日(金) 23日(祝) 萬燈会・たかはたもみじ灯路(九頁参照)

○23日(祝) 花塚供養 嵯峨御流華展

○24日(日) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶

○28日(木) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶

第四十九回高幡不動尊菊まつり

恒例の高幡不動尊菊まつりが左記の通り開催されます。皆様お誘い合せてご鑑賞下さい。

記

一、月 日 十月二十六日(土)～十一月十七日(日)

一、会 場 高幡不動尊境内

一、参 加 多摩菊花連盟参加十一市の菊作り愛好家

一、出 品 厚物・管物・一文字・懸崖・福助・だるま・盆栽・切花等一、二〇〇点余り

一、特別出展 参加十一市の特設花壇及び特志者の大作

一、審 査 十一月五日・十三日の両日に行われ、

一、内閣総理大臣賞をはじめ各大臣賞・東京都知事賞等が贈られます。

※期間中は毎日菊作りの相談及び菊苗の販売が行われます。展示された菊花のうち切花は十一月七日・十四日の両日朝から、福助は十一月十日午後一時から即売されます。※菊の育て方講習会も行われます。十月三十一日、当日申込・参加費千円・問い合わせは日野市観光協会(TEL 五八六一八〇八)まで。
又、期間中のご縁日・日曜・祝日等は七五三詣とも重なり大変混み合いますので、なるべく電車・モノレール・バスをご利用下さい。



七五三・新生児祈願のご案内

お子様の健康をお祈りする七五三祈願は十月～十一月中毎日、新生児祈願は一年中ご修行しております。

◎ご修行時間 午前九時～午後四時

◎ご祈願料 金三、〇〇〇円以上 (お札・供物料含む)

※堂内ではお子様を中央前に、ご家族の方はその後ろにお座り下さい。



高幡不動尊もみじまつり

十一月十八日(月)～十一月三十日(土)

境内から裏山にかけては、樹齢二百年以上の古木三百株・約三十年の稚木一〇〇〇株が集中しています。特に五重塔・大師堂・鐘樓堂付近のもみじは見事でライトアップも予定されております。

もみじまつり期間中の主な行事・催しは左の通りです。

- 十一月十六日・十七日 高幡写仏会
- 十一月十七日 ござれ市
- 十一月二十一日 月例写経会 法話 山内僧侶
- 十一月二十二日・二十三日 萬燈会・たかはたもみじ灯路
- 十一月二十二日・二十三日 嵯峨御流華展
- 十一月二十三日 花塚供養
- 十一月二十四日 千体地藏尊月例法要
- 十一月二十八日 ご縁日

萬燈会・たかはたもみじ灯路

当山では左記の通り二日間に亘って萬燈会を奉修し、皆様
の七難即滅・七福即生並びにご先祖様の追福菩提をお祈りさ
せていただきますので、皆さまお誘い合せてご参加下さい。
尚、両日とも午後六時から門前町一帯で、約二四〇〇個の
置灯明が点灯され、「たかはたもみじ灯路」の幽玄な世界が
現出されますのでお楽しみ下さい。

記

- 一、月 日 十一月二十二日(金)・二十三日(祝)
- 一、会 場 高幡不動尊五重塔
- 一、行 事 法話・詠歌奉詠 午後四時
- 萬燈会(塔院) 午後五時
- 塔婆供養(五重塔前) 午後五時三十分
- 奉納コンサート 午後六時
- 一、御燈料 金一、〇〇〇円也(一人につき)
- 一、経木塔婆 金一、〇〇〇円也(一霊につき)
- 一、浮燈明 金 五〇〇円也(五重塔の池に浮べる燈明です)

大提灯ご奉納のお願い



大提灯ご奉納いただいた

当山では萬燈会・正月・大
祭・節分等の大行事の折、各
所に大提灯をお飾り致します
ので協賛の程お願い申しあ
げます。

- 尚、募集要項は左の通り
- 一、品 名 萬燈会及び大祭
用大提灯(ご奉
納者芳名入り)
- 一、募集数 五十基
- 一、志納金 金五〇、〇〇〇円
- 一、申 込 当山事務局又は
宝輪閣受付
- (ご連絡下されば申込書をお
届け致します)

高幡写仏会のお知らせ

自分の手で仏様のお姿を写経のように写して、その後、御
本尊不動明王に奉納する写仏会です。
当山では年二回(あじさいまつり・もみじまつりの会期中)
写仏布教の第一人者、画僧牧宥恵師を招いて開催しています
写仏前の御法話も人気があります。是非この機会に御参加い
ただき、お不動様との法縁と写仏を自身の浄行とされ御本尊
不動明王のご加護を授り下さい。

記

- 日 時 十一月十六日(土)・十七日(日)
- 会 場 午後一時～午後四時(受付 正午より)
宝輪閣地階ホール(両日共、牧宥恵師の作品
を展示します)
- 内 容 午後一時 法話
午後二時 写仏
- 会 費 午後四時 写仏奉納大護摩修行
式千円(材料費含む)
- ◇お申込・高幡不動尊事務局まで
電話 〇四二五九一〇〇三二

第十一回 藤蔵・勝五郎 生まれ変わり記念日イベント

日野市郷土資料館の勝五郎
生まれ変わり物語探求調査団
では、十月十日に迎える「藤
蔵・勝五郎生まれ変わり記念
日」に際し左記の通り講演会
を開催致しますのでお誘い合
せてご参加下さい。

記

- 〇日時 十月六日(日)
午後一時半～四時
- 〇会場 五重塔地階大ホール
(入場無料)
- 〇定員 二百名(直接会場へ)
- 〇記念講演会
〇講師 松村恒氏(小泉八雲
研究家・元大妻女子
大学教授)
- 〇演題 「異なる時間の体系か
ら勝五郎の再生を再
考する」
- ※講演会終了後、記念碑と藤
蔵墓所へご案内します。
- 〔問合せ〕
日野市郷土資料館
〇四二五九二一〇九八一

第三十六回あじさいまつり

今年のおじさいは程よい雨に恵まれ見事な花を咲かせ、連日大勢の方々がお来山されました。当山茶道教室のご奉仕による薄茶接待では二八〇八名の皆様楽しんでいただきました。

少年柔剣道奉納大会 6/2

日野警察署内の道場で稽古に励んでいる少年少女が、すばらしい奉納試合を繰り広げました。各部受賞者は次の通りです。



柔道優勝の佐藤桃花さん
～少年柔剣道～



剣道優勝の須藤怜太くん
～少年柔剣道～

○柔道

- 少年の部
- 優勝 佐藤 桃花
- 準優勝 古澤 瑛

○剣道

- 少年の部
- 優勝 須藤 怜太
- 準優勝 新坂 優歩
- 打止め賞 真野 海
- 保護者の皆様から

高幡不動尊という素晴らしい場で柔道をさせて頂いた娘はともにも貴重な経験をさせて頂きました。本当にありがとうございました。

須藤 裕子
小学五年生の息子が元気に参加し、その姿を見ることができてとても感謝しています。

池田久美子
子供たちの元気な姿、一生懸命に戦っている姿は、とても素晴らしいと思います。また来年も楽しみにしています。

日本拳法奉納大会 6/9

三十六回目を迎えた日本拳法奉納大会は二十団体一三一名の参加で終日熱戦が繰り広げられました。

本年の参加団体と各部受賞者は次の通りです。

明治大学・中央大学・立教



前蹴り炸裂！
～日本拳法～

大学・國士舘大学・東海大学
・東洋大学・早稲田大学・駒澤大学・明治学院大学・青葉拳友会・南平拳友会・圏央ネット・日本拳法奉練会・修猷塾・大宮三二連隊・板妻拳志会三四連隊・滝ヶ原駐屯地・第一普通科連隊・第一偵察隊

○三段以上の部

- 優勝 齋藤 昌

「歴史がある大会で優勝出来光栄に思います。更に高みを目指し頑張ります」

- 準優勝 谷古宇健太郎
- 三位 中矢 雄三
- 本多 優作

敢闘賞 棚原雅巳・岩崎勇太
植木大介・酒見千允

○二段の部

- 優勝 麓 恭平

「優勝できて感謝しています」

- 準優勝 狩俣進一郎
- 三位 塚本 雄介
- 藤倉 悠

敢闘賞 石和明紘・片野正人
神林雅也・三森秀吾

○初段の部

- 優勝 深迫 大樹

「高段位の選手の試合を見てまだまだ自己を高めようと感じました」

○級の部

- 優勝 奥澤 圭佑

「優勝できて良かったです」

- 準優勝 田邊 毅昌
- 三位 押切 大和
- 岡崎 大将

敢闘賞 河口貴昭・小泉 救
荒川海斗・中島健治

○女子の部

- 優勝 中野真由美

「とても盛上がったので良かったです。自分の成長にもなりました」

- 準優勝 細谷 沙貴
- 三位 真邊友紀子
- 糸井 星
- 敢闘賞 高橋 歩実

空手奉納大会 6/23

大会当日は奉納試合・演武・厚板の試割等が披露されま



盛りあがった厚板の試割
～空手大会～

した。各賞受賞者は次の通りです。

○ライトコンタクト空手

優勝 八木 武寛

「第三十六回あじさいまつり空手奉納大会を迎えられたことを嬉しく思います。今後とも修業に精進していきたく思います」

敢闘賞 河井翔太郎

「他の道場で稽古している方の形がすごかったです。小さい子供達もがんばっています」

努力賞 油原 政明

「空手を修業する事で、耐える力がつきました。演武会で他の道場の門下生ががんばっ

ている姿を見て強く刺激を受けました」

尚今年の参加団体は日本空手道不動会本部道場・同八王子支部・空手道多摩不動会・空手道武現塾の皆様です。



全国俳句大会 兼題の部1位 落合みね子様

あじさいまつり全国俳句大会

兼題は、一〇六五名・二一三〇句の応募があり、十四名の先生方に各七十句選を依頼し合計点上位三十名の入選が決まりました。

上位入選者（一位～三位）
菊日和昭和の匂ふござれ市

小平市 落合みね子

冠に春光あつめ稚児の列

渋谷区 塚崎五合子

今年又生きて傘寿の花ごろも

日野市 熊澤 初江

④西島 明子 ⑤日下野仁美

⑥加川すすむ ⑦中村 優江

⑧石山 和子 ⑨古郡 瑛子

⑩相馬マサ子 ⑪塚崎 和朗

⑫安楽 昌泰 ⑬佐藤 風

⑭梅原 清次 ⑮串田 時子

⑯遠藤 由比 ⑰石田 雄進

⑱白井 芳子 ⑲松本由美子

⑳内河 邦陽 ㉑加藤 寿雄

㉒橋本 絢 ㉓福田 冷子

㉔小川美津子 ㉕小松 和子

㉖小林美智恵 ㉗富山 光義

㉘若林アヤ子 ㉙大久保 昇

㉚関根 正義

兼題の選者は次の先生方です（敬称・肩書略・五十音順）

大久保白村・大竹多可志

鍵和田柚子・柏田 浪雅

才野 洋 ・ 笹木 弘

鈴木 貞雄・鈴木 節子

高橋 悦男・棚山 波朗

橋爪 鶴磨・星野 高士

矢島 艶子・山崎千枝子

の諸先生

表彰式・記念俳句大会 8/3

記念俳句大会は八月三日高

幡不動尊を会場に盛大に行われました。当日の句会は当季雑詠二句で二四〇名の方が出句、出席諸先生方の選で上位三十名が表彰されました。

尚、当日は俳誌玉藻主宰 星野高士先生による『私と立子俳句』と題しての記念講演が行われました。

短歌大会 8/4

短歌大会は一八六名・三七二首の投稿がありました。表彰式には約七〇名の出席があり、諸先生方による講評が行われました。尚、選者・講評をおつとめ下さった先生

は次の方々です（敬称・肩書略・五十音順）
大河原悼行・狩野 一男
長澤 ちづ・松坂 弘
の諸先生

上位入賞者（一位～三位）
今年また高幡不動のあじさいに
白寿の母の車椅子押す
国分寺市 越前 春生

ござれ市勧め上手に乗せられて
肩幅合はず藍染のシャツ
三鷹市 田山 光起
あじさいの藍にこもれ陽映ゆるなり
山鳩の声かすかに聞こえて
日の出町 宮田 美子

④千明 武紀 ⑤長谷川 瞳
⑥徳植 弘幸 ⑦鈴木久美子
⑧石川るみ子 ⑨最上智恵子
⑩石川 淳子 ⑪上杉 英俊
⑫中道 操 ⑬小西マサエ
⑭富山富美子 ⑮清水 桂子
⑯佐藤 輝子 ⑰小川 恵子
⑱宮坂 重子 ⑲藤井 徳子
⑳宮本 順子 ㉑大野 綾子
㉒桜井 栄一 ㉓坂本 由子
㉔赤羽 克己 ㉕羽生 幸子
㉖渡邊 喬子 ㉗大戸紀久代
㉘渡利 杏 ㉙金治 暁義
㉚佐藤 昌喜



短歌大会表彰式 2位の田山光起様

あじさいまつり写真コンクール

今年も総数一六五七点とたくさんの作品を応募いただき、七月二十九日に審査会が行われ、合計一〇八点が入賞しました。
 入賞作品は九月末日まで五重塔千体堂に、その後十月三日より十月八日まで京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターA B館五階連絡ブリッジギャラリーに展示します。

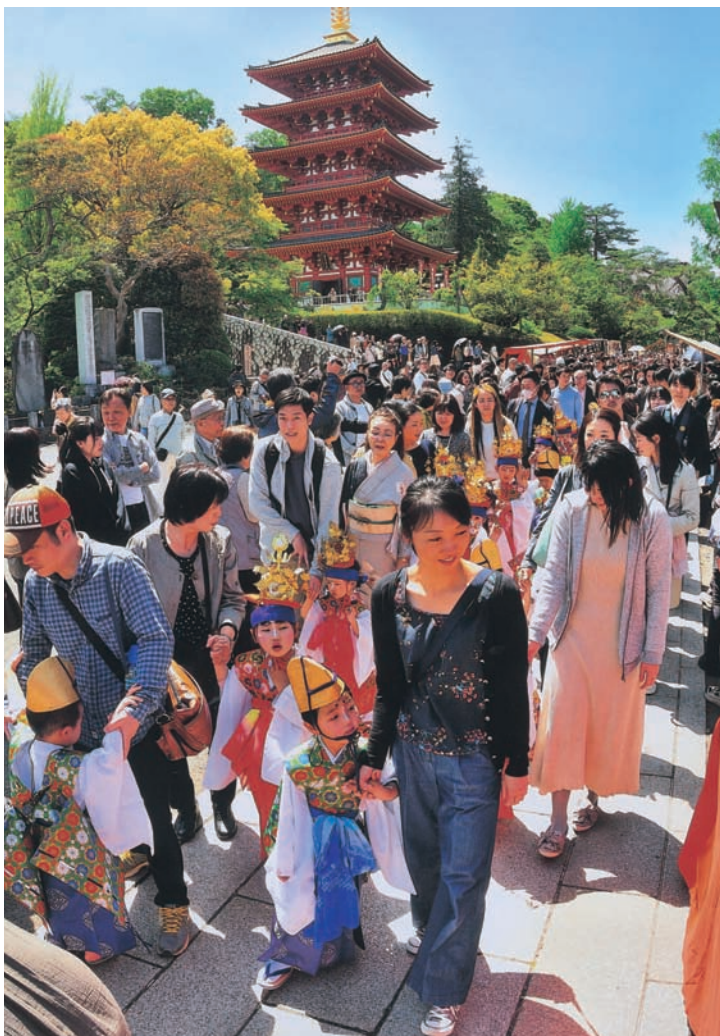
応募作品 計一、六五七点 あじさいの部 一、〇〇六点
 応募人数 三三三人 四季の部 六五一点

〈あじさいの部〉

- 金賞 日野市 野村 明雄
- 銀賞 東和市 木村 純平
- 〃 日野市 羽賀 道行
- 〃 日野市 小山 乾 (六月号掲載)
- 銅賞 日野市 橋本 昌利 (十六頁掲載)
- 〃 八王子市 星野 利成
- 〃 海老名市 清水 進 (六月号掲載)
- 〃 小金井市 鈴木 忠良
- 〃 調布市 北野 修 (三月号掲載)

〈四季の部〉

- 金賞 国分寺市 本多 忠雄
- 銀賞 八王子市 佐野 軍英 (十二月号掲載)
- 〃 日野市 設楽 誠一 (三月号掲載)
- 〃 立川市 本沢 七朗 (一頁掲載)
- 銅賞 相模原市 天池 信夫
- 〃 八王子市 原田 恵一 (十二月号掲載)
- 〃 八王子市 佐々木 芳子
- 〃 八王子市 真次 弘 (六月号掲載)
- 〃 東和市 湯本 孝平



「お稚児行列」
 四季の部 金賞
 国分寺市 本多 忠雄



「今年は大吉、大吉」
 四季の部 銅賞
 相模原市 天池 信夫



「春の高幡不動尊」
 四季の部 銅賞
 八王子市 佐々木 芳子



「可愛いね」
あじさいの部 金賞 日野市 野村 明雄



「梅雨空の華やぎ」
あじさいの部 銀賞 日野市 羽賀 道行



「朝日浴びる初夏の高幡不動尊」
あじさいの部 銀賞 東大和市 木村 純平



「おジイちゃん、会えてうれしいよ」
四季の部 銅賞 東大和市 湯本 孝平



「梅雨の境内」
あじさいの部 銅賞 小金井市 鈴木 忠良



「あじさい山の小道」
あじさいの部 銅賞 八王子市 星野 利成

山内消息 1

職員研修旅行

(5/16・5/17) (5/22・5/23)

今年の研修旅行は、鹿児島へ一泊二日の行程で実施されました。

天候にも恵まれ、真夏の様な晴天の中、鳥津家別邸、大名庭園となる仙巖園。世界文化遺産で日本最初の洋式工場群「集成館」を紹介する尚古

集成館を見学。鹿児島市内に移動し、維新ふるさと館を見学して、一日目は終了しました。

翌日は、知覧特攻平和会館を訪れ、会館内では、隊員達の写真、出撃記録、遺品や家



桜島をバックに (研修旅行)

族や愛しい人への手紙が展示され、会館職員による隊員達の紹介なども行われていました。

改めて、一人一人の命の大切さと尊さ、家族への思いや感謝を今一度考える有意義な時間を過ごせた研修旅行となりました。(丸山幸記)

智山専修学院来山 (6/6)

総本山智積院より陶山生徒監、奥田副生徒監の引率のもと智山専修学院生十七名が来山しました。例年は十月月上旬頃の来山でしたが今年は入学早々の来山となりました。一行は大護摩修行に続き諸堂を参拝し研修の日程を終了、京都への帰路につきました。(上田記)

遍照講東京多摩教区連合会講習会・検定会 (6/11)

遍照講東京多摩教区連合会講習会・検定会が高幡不動尊で行われ多摩教区の講員約七十名が参加しました。

講師には、密厳流遍照講師指導師範、深谷雅良先生・検定員には林智宏先生をお迎えし、曲目は、「追善供養和讃(付灯影)」「弘法大師第二番詠歌



深谷雅良先生 (ご詠歌講習)

(正信)を講習いただきました。特に正信では拍の取り方・所作等難しい曲なので講員の皆さまも食い入る様に受講されていました。

尚、この度の検定に高幡山支部の講員も受検し合格されました。准教導合格者は、堀久子様・秋葉喜野様・橋本幸子様・河野ヤスエ様の四名です。おめでとうございます。(手塚記)

青葉まつり (6/15)

宗祖弘法大師、中興興教大師のご誕生をお祝いする青葉まつりが六月十五日、大日堂に於て奉修されました。

法要に先立ち吉野孝壽先生に「両大師の生涯」と題してご法話をいただき、法要では

遍照講の皆様にも「両祖大師誕生和讃」をお唱えいただきました。(伊大知記)

幡山会総会 (6/17)

当山法類寺院の幡山会総会が、午後六時よりパレスホテル立川に於て開催され、三十一名が出席しました。

総会は清水博雅会長の挨拶にはじまり、続いて司会の黒川執事から昨年度の諸報告並びに今年度の活動予定報告があり、佐藤副部長より昨年度会計の報告がなされ総会は終了。引き続き同会場にて懇親会が行われ、終始和やかなムードでお開きとなりました。(百戸記)

毬切り (7/5)

恒例の紫陽花の毬切りが行われました。今年は四日の予定でしたが、大雨の為五日に順延。午前と午後の班に分かれ、紫陽花会、商店会の皆様にお手伝い頂きながら山全体の紫陽花の花を落としました。今年は雨が少なかったせいか若干小振りのようでしたが、来年は大きく綺麗に咲くようにと願いを込めて切りました。(杉田周記)



初々しい修行僧 (智山専修学院)

布施浄慧院下初登嶺 (7/8) 真言宗智山派管長・総本山智積院化主第七十二世に就任された大僧正布施浄慧院下が総本山智積院に初登嶺されました。 八時三十分、総門にて宗内重役・山内職員が御出迎えし、続いて諸堂参拝。その後管長就任式が講堂に於て行われました。

十三時よりハイアットリージェンシー京都に会場を移し祝宴が開かれ、当山貫主は前日の新幹線内でのエピソードを交えた乾杯の発声を務めました。(直井記)

高幡いきもの曼荼羅 ⑧

七月中旬、高幡不動尊の弁天池で嬉しい光景を眼にしました。カルガモが三羽孵化し、親子で池を泳いでいるのです。実はこの弁天池にはアオダイショウ等、カルガモにとっては歓迎すべからざる生き物が棲んでいます。それにも負けず孵化させたことには、親鳥の並々ならぬ執念を感じました。

自然環境は生き物達に平等に影響を及ぼします。その環境により順応した、つまり適応力の強い生き物が繁栄するのは明白です。例えば高幡不動尊の境内で賑やかに囀るガビチョウは特定外来生物に指定されています。人為的に輸入されたガビチョウは繁殖力が強く、多摩地方でもこの十数年で急激に生息範囲を広げています。

環境とはその場所に生息する生き物を全て含めた状態をいいます。人間もその一部であるの言うまでもありません。一人一人の力はささやかかも知れませんが、周りの環境を意識することが、ひいては自然環境をより良い方向に導く一助になるのではないのでしょうか。凡そ環境破壊を進めているのは他ならない私達人類なのですから。



高らかに囀るガビチョウ



カルガモの親子 (弁天池にて)



ハグロトンボ (弁天池にて)

なにげなくつかっている仏教のことば——我他彼此(がたびし・がたひし)

引き戸などの立て付けが悪く、着することによって、さまざまになり、《がたがた》と騒がまな分別・差別が生じ、自分(我)と他人(他)、他人のもの(彼)と自分のもの(此)といしさを「がたびし」と表(我)と他人(他)、他人のもの(彼)と自分のもの(此)とい現します。また「がたがくる」(彼)と自分のもの(此)とい「がたつく」なども、これに(我)と他人(他)、他人のもの(彼)と自分のもの(此)とい

由來する語とされています。彼此」と表現しました。これに対して、自我を分別

お不動さま教えて？

ご質問 仏教と関係がある植物について、是非、知りたいと思っています。どうかお不動さま教えてください。(前号からのつづき)

お答え はい、お答えいたします。

前号では、仏教における三大聖樹のうち、無憂樹(むゆうじゆ)について、お話しいたしました。そこで今号では、菩提樹(ぼだいじゆ)を取り上げることになりました。



葉の菩提樹の葉 大日堂前の菩提樹の葉
この樹はクワ科イチジク属の半落葉樹で、その実は無花果(いちじく)と同様に花が咲くことが無く実ります。お釈迦さまの成道以後、この樹を菩提樹(さとり)の樹と称するようになりました。また、日本の地でも菩提樹と称して、寺院の多くで植えられているのは、葉の形がインドの菩提樹に似た、シナノキ科の落葉樹のことです。

煩惱を断じ、苦しみを滅し、迷いからめざめたこと、すなわち《さとりの》のことをいいます。青年時のお釈迦さま(ゴータマ・シッタールタ)は、苦からの解脱をめざし、シヤカ国の王子の地位を捨てて出家をし、およそ六年間にも及ぶ苦行を修するも目的を果たすことができませんでした。そこで一旦、苦行の座より立ち、沐浴して身心を

浄めました。さらに村娘のスジヤータから乳粥の供養を受け、体力と氣力を養い、尼連禪河(にれんぜんが)のほとりにあった大樹の下に坐し、煩惱である悪魔を降伏し《降魔》、ほどなくさとりにいたりました《成道》。現在日本では、十二月八日のこととされています。

この時の大樹はクワ科イチジク属の半落葉樹で、その実は無花果(いちじく)と同様に花が咲くことが無く実ります。お釈迦さまの成道以後、この樹を菩提樹(さとり)の樹と称するようになりました。また、日本の地でも菩提樹と称して、寺院の多くで植えられているのは、葉の形がインドの菩提樹に似た、シナノキ科の落葉樹のことです。この樹は、臨濟宗の開祖である栄西(一一四一〜一二一五)が中国から持ち帰ったものとされています。この高幡のお不動さまでも、大日堂に向かって右脇にこの樹が植えられています。(次号につづく)

皆様からのお便り

弁天池の可愛いこでまりの花に心がなごみました。

亀さんや鯉に元気をもらってうれしかったです。亡き母は弁天様の景色が大好きでした。巳年の生まれでした。亡き大僧正様が偲ばれました。毎日「四季を楽しむ」を朗読していました。感謝

八王子市 栗原 成子



「課外授業」 あじさいの部 銅賞 日野市 橋本 昌利

五月大祭講演会講師

声優 増岡 弘

講演会ではありがとうございました。皆さんにお会いして、話を聞いて頂き、嬉しい限りです。「人生は舞台、あなたに主役」が好きな言葉です。そして喜びも、悲しみも努力も足し算です。頑張っ楽しく生きます。ありがとうございます。

山内八十八ヶ所めぐり

クイズの正解

①弘法大師の出身は

「香川県」

⑩土方歳三没後一五〇年の

ラッピングされているのは

「タクシー」

⑳ラグビーワールドカップ

日本での開催は

「一回目」

㉔多摩モノレールの開業は

「平成十年」

④第五十三番から望めるのは

「富士山」

⑤日野市がロケ地のドラマは

「チア☆ダン」

⑥お釈迦様が産まれたのはマ

ヤ夫人の

「脇の下」

⑦ほのかな香りがある紫陽花は

「小あじさい」

⑧京王電鉄の指定席列車は

「京王ライナー」

⑧五重塔の相輪の数は

「九」

本年は六五四名の方に解答いただき、全問正解は四五六名でした。

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時～午後五時

午後四時半までにお申込下さい。

○ご祈願料 金三千元也

御護摩修行

○平日 八時・十時・

十一時半・一時・三時

○土曜・日曜・祝日

八時・十時・十一時半・

一時・二時半・四時

○但し二日、十五日の午前中は

五時・十時・十一時半

○ご縁日(二十八日)

五時・九時・十時・十一時・

十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料

金参千円也

金五千円也

金壹万円也

(大護摩) 金参万円以上

ご縁日 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市)

毎月第二日曜日(雨天中止)

ござれ市(がらくた市)

毎月第三日曜日(雨天決行)

お焚き上げ

毎月十五日午前九時

月例写経会

毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要

毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館)

午前九時～午後四時

拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観

午前九時～午後四時

参拝料 二〇〇円

(月曜休館)

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

長梅雨、明けたら体温に近い厳しい暑さ、続々と発生する台風など、近年さらに進んでいる温暖化の影響でしょうか。又、各地の豪雨災害、速い復興をお祈りします。

今号は、あじさいまつりの報告、秋の行事案内等掲載いたしました。

お手元に届く頃は、幾分か涼しくなっているでしょうか。ご自愛ください。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別格本山 高幡山金剛寺

電話 (042) 591-0032(代)

FAX (042) 593-3038

発行人 黒川 高德

編集人

年4回発行・再生紙使用